

令和4年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

＜ 音楽 ＞

学年	現状分析	具体的な授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に声を合わせて歌ったり、体を動かしながら音楽を聴いたりする学習に、楽しんで取り組んでいる。 ・音楽に合わせて歌いながら歩いたり、拍ののってリズムを打ったりすることができた。 ・リズム遊びを通して、リズムの組み合わせ方や休符が入ることによるおもしろさに気付くことができた。 ・鍵盤ハーモニカは、ロングトーンに取り組むことで、息使いに目を向けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の声や伴奏と「合わせる」楽しさを味わうことができる活動、身の回りの音や音楽に親しむことができる活動を展開する。 ・音楽を聴いて感じたこと（楽しい、きれい、やさしい）や、気付いたこと（リズム、音色など）を、言葉や身体表現を通して表現できるように指導する。 ・様々なリズムに加えて、楽器の音色の違いにも視点を広げ、音楽づくりの発想へとつなぐことができるように、気付きを価値付けていく。 ・鍵盤ハーモニカは、タンギング、息使い、運指等を、丁寧に指導していく。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組んでいる。 ・話を最後まで聞いたり、学習を深めたり、継続的に支援するための手立てが課題である。 ・音楽に合わせて体を動かしたり、様子を思いうかべたりしながら楽曲を聴くことができた。拍のまとまりを捉えて聴くことができる児童もいるが、音楽の要素を捉えることが難しい児童も多い。 ・リズムの模倣や拍ののって手拍子をしたり、体全体を使って表現したりする活動ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の聞き方の徹底を図るために、担任と日頃から連携を取り、授業の約束事を確認していく。学習を深めるために、楽曲を聴く視点を示し、互いの音楽表現を聴き合う経験を増やしていく。継続的に支援するために、個別支援の時間を設定し、声掛けを続けていく。 ・音楽表現に生かすために、体を動かして音楽を聴く活動を今後も積極的に取り入れていく。音楽を聴くポイントを提示し、板書や掲示物を使用して共有しながら視覚的にも示していきけるようにする。 ・身体表現をグループで見合ったり、自分の考えを友だちに伝えたりする場面を設定し、認め合える環境作りをしていく。

3年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組み、歌唱や器楽に積極的に取り組む児童が多い。 ・楽曲の曲想に合わせて体を動かしたり、様子を思いうかべて聴いたりすることができている。また、捉えた曲想をもとに音楽をつくる学習に積極的に取り組むことができている。 ・リコーダーの学習に積極的に取り組み、姿勢や音色に気を付けて演奏しようとしている。 ・基礎的な運指や息使い等の習得が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに主体的に活動に取り組むことができるような授業の展開をしていく。 ・楽曲を聴くポイントを提示し、音楽の要素に着目させて聴かせるようにする。音楽づくりの活動では、個人やグループで思考する場面を設定し、表現する能力を高めていけるようにする。 ・タンギングや運指、息の強さ、音色など、個別に指導していく。リコーダーの音色を聴く活動を取り入れ、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う時間を設定し技能を高めていく。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組み、音楽室のきまりを守って積極的に学習に取り組む児童が多い。 ・楽曲の特徴を感じ取ったり、様子を思いうかべたりしながら聴くことができている。また、捉えた曲想をもとに音楽をつくる学習に積極的に取り組むことができている。 ・リコーダーの学習に積極的に取り組み、楽曲のリズムや旋律に気を付けて演奏しようとしている。 ・運指やタンギング等技能面の習得が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に活動に取り組むことができるような授業の展開をしていく。 ・楽曲を聴くポイントを提示し、音楽の要素に着目させて聴かせるようにする。音楽づくりの活動では、個人やグループで思考する場面を設定し、表現する能力を高めていけるようにする。 ・タンギングや運指、息の強さ、音色など、個別に指導していく。リコーダーの音色を聴く活動を取り入れ、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う時間を設定し、技能を高めていく。

<p>5年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が課題意識をもって学習に取り組むことができるようになってきている。 ・楽曲の曲想を感じ取りながら鑑賞することができる。感じ取った自分の意見を積極的に友達に伝えようとする児童も多い。 ・感じ取ったことを言葉で表現したり伝えたりすることが苦手の児童もいる。 ・積極的に器楽の練習を重ねる児童が多く、友達と教え合いながら演奏の仕方を工夫している。技能面で個別支援を必要とする児童への手立てが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して伸びやかに表現できる学習環境となるよう、失敗してもよい空間であることを伝え、学習の過程を大切にして、良い点を賞賛して認めていく。 ・様々なジャンルの音楽に触れる機会を増やし、曲想の変化や楽曲の構造に気付くことができるよう工夫して指導していく。鑑賞のワークシートの工夫や、友達同士で認め合える場面や褒める場を多く設定していく。 ・児童の主体性を伸ばし、演奏の技術を高めたり創意工夫したりできるような環境を整える。個別指導の時間を取り入れ、ワークシートや教え合いの仕方を工夫し、支援していく。
<p>6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が課題意識をもって、学習に取り組むことができるようになってきている。 ・楽曲の曲想を感じ取りながら鑑賞することができる。また、曲想の変化に耳を傾けて聴こうとする様子が見られる。 ・楽曲の構造を捉えて聴くことは難しいと感じている児童もいる。 ・積極的に器楽の練習を重ねる児童が多く、友達と教え合いながら演奏の仕方を工夫している。 ・技能面で個別支援を必要とする児童への手立てが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して伸びやかに表現できる学習環境となるよう、失敗してもよい空間であることを伝え、学習の過程を大切にして、良い点を賞賛して認めていく。 ・様々なジャンルの音楽に触れる機会を増やし、聴くポイントを絞って楽曲の構造や魅力に気付かせ、音楽の良さを友達同士で伝え合う場面を多く設定していく。 ・児童の主体性を伸ばし、演奏の技術を高めたり創意工夫したりできるような環境を整える。個別指導の時間を取り入れ、ワークシートや教え合いの仕方を工夫し、支援していく。